

逆さ漏斗式回収法

新潟県上越市立城北中学校
多賀 重敬

とても確実、効率的なメタンハイドレート掘り方を提案します。

それは、表層型で海底の表面にハイドレートが露出していることを利用したものです。

具体的な方法は、逆さにした口径20mの巨大な漏斗のようなもの（円形が望ましいが無駄なく効率良く回収するために20m×20mの正方形や六角形でもよい。また、管の部分は水面まで出る。）を海底に下ろします。

海底の水温は低いですが、海底の水の動きを止めることで地熱で水を温められるのです。海底1,000mでも12℃もあれば、ハイドレートは溶け、メタンが気体になります。そして、管を通じて浮上してきたメタンを回収します。水に溶けてしまった分のメタンも水を吸い上げて回収できます。

以上が僕の案です。最後に、エネルギー問題の解決につながることを願います。

逆漏斗式回収法

多賀重敬

・使用道具の図

